

工事実施状況（中央JCT）

H27年11月現在



中央ジャンクション南側シールドトンネル立坑工事
・ランプシールドトンネル立坑構築



中央ジャンクションランプ橋(下部工)工事
・橋脚の構築 等

H27東京外環環境対策工事
・防音パネル設置

東京外環中央JCT北側ランプ改良工事
・ランプシールドトンネル立坑構築
ランプ部地下躯体構築 等



中央道 ONランプ仮橋



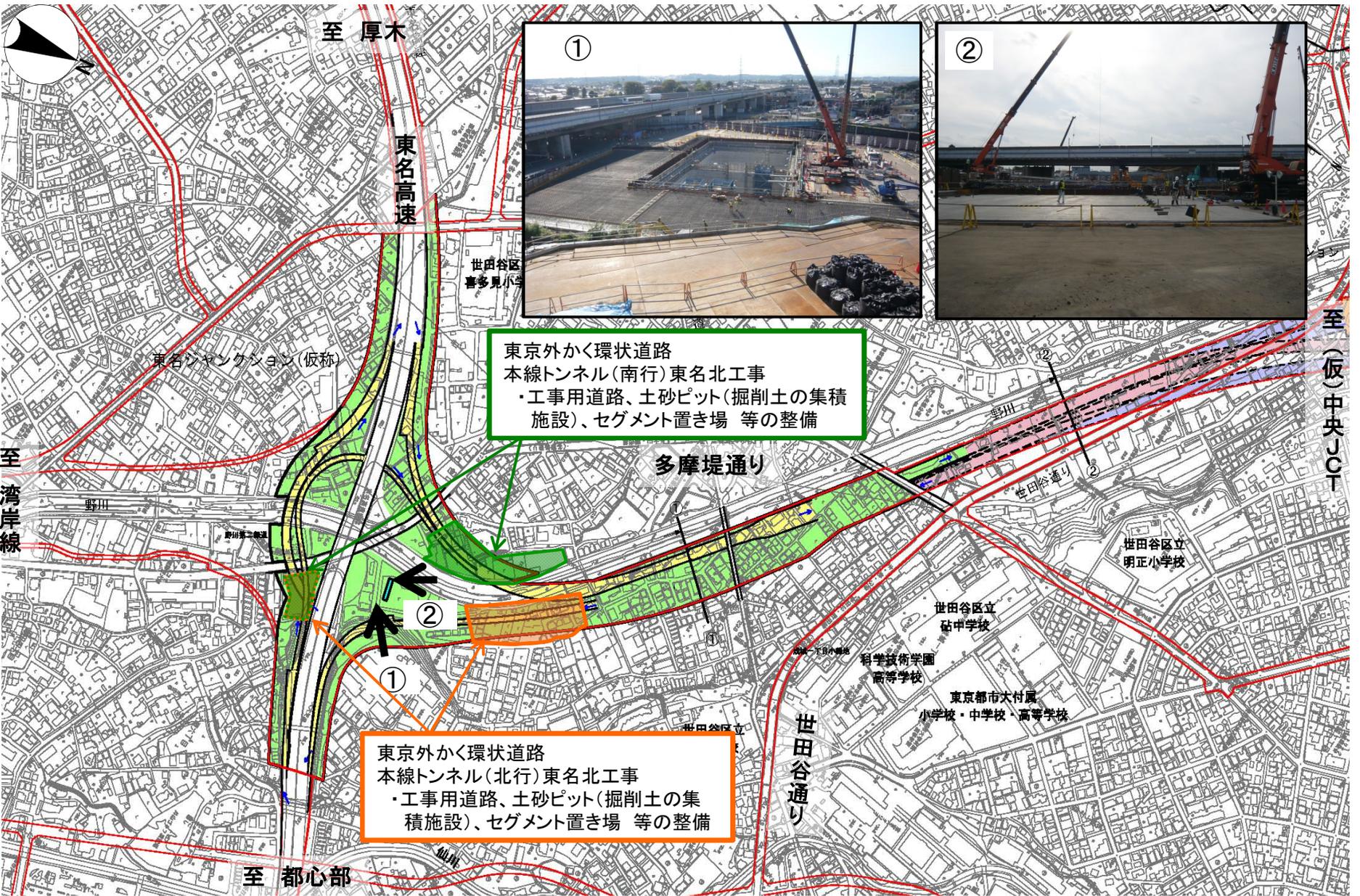
中央道 ONランプ仮橋

H26東京外環準備他(その1)工事
・既存道路の切り回し 等

用地取得の形態
用地買収部
区分地上権取得部
大深度地下使用部

工事実施状況（東名JCT）

H27年11月現在



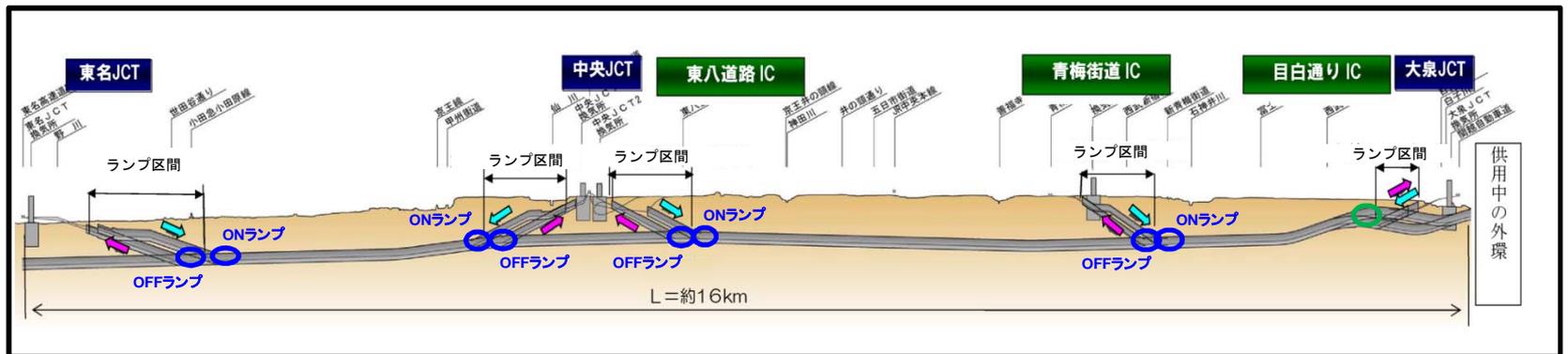
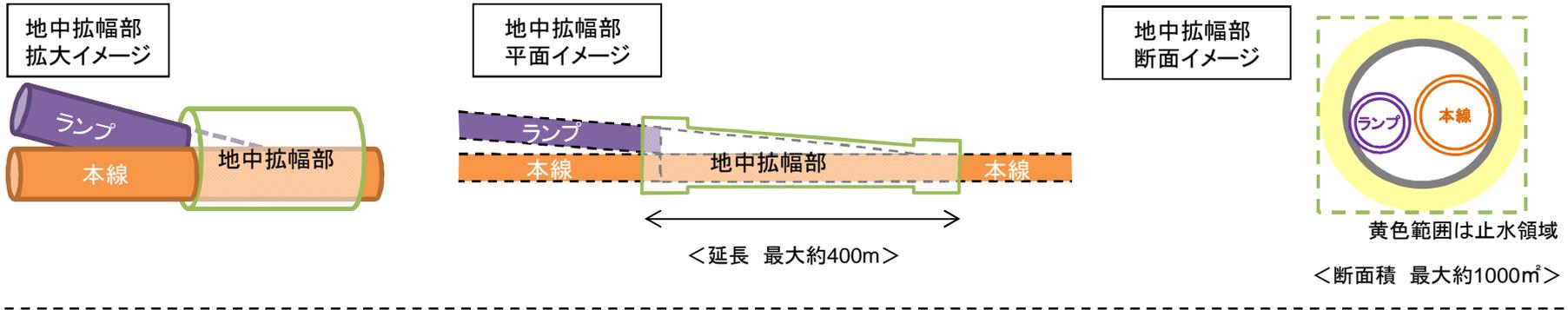
東京外かく環状道路
本線トンネル(南行)東名北工事
・工事用道路、土砂ピット(掘削土の集積施設)、セグメント置き場 等の整備

東京外かく環状道路
本線トンネル(北行)東名北工事
・工事用道路、土砂ピット(掘削土の集積施設)、セグメント置き場 等の整備

用地取得の形態 用地買収部 区分地上権取得部 大深度地下使用部

東京外環（関越～東名） 地中拡幅部について

- 地中拡幅部とは、地中で分岐・合流を行う計画となっている東京外環（関越～東名）のJCT・IC部において、本線シールドトンネルと連結路（ランプ）シールドトンネルを地下40m以深で非開削施工で繋ぐ部分（合計8箇所）
- 大深度の高圧力のなか地中でシールドトンネル同士を非開削によって切り拓げる、地中拡幅部の工事は世界最大級の難工事（断面積は約1,000㎡、延長は約400m）



○ 地中拡幅部

○ 既存技術による本線とランプの地中切り開きあり

地中拡幅事例

○地中において、シールドトンネルから切り開きを行った※事例(イメージ断面図)と比べ大断面であり、**世界最大級の規模**

※今後の予定を含む

断面積(m²)

1000

500

首都高速
中央環状新宿線

本線φ=約11m
断面約420m²

東京外かく環状道路
(関越～東名)

本線φ=約16m
断面約1000m²

横浜環状北線

本線φ=約12m
断面約260m²

首都高速
中央環状品川線

本線φ=約12m
断面約250m²

※横浜環状北線と中央環状品川線は、
大きさが同程度のため、ずらして記載

10

15

接続トンネル(本線)直径(m)

各種技術資料より国土交通省関東地方整備局作成

